

令和 7 年度 社会福祉法人大槌町社会福祉協議会ボランティアセンター事業報告

■地域交流用具等の貸出し

地域住民の交流や、自治会・町内会の立ち上げに資するため、地域交流用具等の貸し出しを行いました。
主な貸出し物品: テント、長机、パイプイス、キャンプ机、キャンパス等

貸出先	自治会 町内会	NPO・ ボランティア	企業	一般社団 法人	学校・ 公民館	協会関係
貸出件数	9 件	11 件	0 件	2 件	2 件	0 件
貸出先	福祉施設	郷土芸能 団体	住民有志	お茶っこ の会	行政関係	合計
貸出件数	8 件	3 件	12 件	2 件	6 件	55 件

■おおつち産業まつりへの参加

「おおつち産業まつり」に参加・出店し、地域との交流や社協事業の周知等に努めました。

開催日	場所	参加者数	内容
R7.10.11	大槌町海づくり記念 公園	約 80 名	①各事業所パネル展示 ②福祉体験(ボッチャ)・お振舞い ③福祉車両の展示・体験 ④共同募金の呼びかけ

・大槌高校生 6 名がボランティア参加。

・赤い羽根共同募金: 6,724 円

・災害義援金: 3,124 円 ※下記内容

(トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金 624 円、令和 7 年台風第 8 号に伴う災害義援金 625 円、令和 7 年月大雨災害義援金 625 円、令和 7 年台風第 15 号静岡県義援金 625 円、令和 7 年台風第 12 号災害義援金 625 円)

■地域活動やボランティア活動の活性化

① 町民ボランティア登録者数

登録内容	雪かき	レクリエーション兼 キャップハンディサポーター
登録者数	30 名	16 名

② ボランティアの活動支援

令和 7 年度ボランティア受入数 33 団体 192 名

活動内容	住民交流 イベント	環境整備・ 維持活動	体験学習 補助	合計
活動人数	91 名	95 名	6 名	192 名

③ ボランティア保険加入促進

保険種類		令和 7 年度		令和 6 年度	
ボランティア 活動保険	基本プラン	23 件	431 名	27 件	465 名
	天災・地震 補償プラン	0 件	0 名	2 件	9 名
	特定感染症 重点プラン	0 件	0 名	0 件	0 名
ボランティア 行事保険	A1 プラン	17 件	571 名	21 件	1,387 名
	A2 プラン	2 件	500 名	1 件	400 名
	A3 プラン	0 件	0 名	1 件	104 名
	B プラン	0 件	0 名	1 件	4 名
	C プラン	44 件	3,760 名	49 件	2,740 名
福祉サービス 総合補償	A プラン	4 件	3,865 名	3 件	49 名
	B プラン	0 件	0 名	0 件	0 名
	C プラン	1 件	1 名	0 件	0 名
送迎サービス補償		2 件		0 件	0 名

④ 大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会の運営

参加構成団体数:12 団体 ※総会資料 P3～P7 令和 7 年度事業報告参照

令和 7 年度は、「第 25 回長澤基金助成金」を活用し、事業の運営を行いました。

■ 地域福祉を担う人材育成

① キャップハンディ体験教室

実施先	開催日	参加者数	内容
大槌町学園 4 年生	R7.6.18	75 名	①講義「視覚障がい、ガイドヘルプについて」 ②体験「アイマスクと白杖を装備する」 「ガイドヘルプ」

※キャップハンディ体験サポーター:6 名参加

② 防災学習・体験

防災に係る学習支援の依頼を受け、対応を行いました。

実施先	開催日	参加者数	内容
吉里吉里学園 中学部	R7.9.16	11 名	9 年生 9 名、教職員 2 名 避難所運営ゲーム(HUG)の体験 (床で避難所運営の模擬体験)
大槌学園	R7.10.31	75 名	9 年生 71 名、教職員 4 名 避難所運営ゲーム(HUG)の体験 (机上での避難所運営の模擬体験)
	R7.11.12	122 名	9 年生 71 名、教職員 7 名 地域住民・団体 44 名 避難所運営訓練 (体育館での避難所運営訓練)

■ 情報提供・総合的な相談支援体制の充実

① 広報等による情報発信

町民へ社協の事業や様々な福祉情報を知ってもらうため広報を発行しました。

・広報の配布実績

配布物	発行回数	配布先
おおつち社協会報	3 回(7・11・3 月)	町内全戸
おおつち社協だより	3 回(5・9・1 月)	町内全戸
こ茶っこ 拠点カレンダー	12 回(毎月末日)	町方地区住民(380 部)
おひさま便り	3 回(4・8・12 月)	サービス利用者・関係者
はまぎく便り	12 回(毎月)	サービス利用者・関係者
ほっと おおつち便り	4 回(5・8・11・2 月)	サービス利用者・関係者
ワークフォローだより	3 回(5・9・1 月)	サービス利用者・関係者

・ホームページ作成事業

社協の広報啓発活動の一環として、インターネット上でホームページを公開しました。

■ 地域福祉のネットワーク強化

②災害ボランティアセンター設置・運営訓練および市町村域ネットワーク会議

災害時にボランティアセンターをスムーズに設置・運営するため、関係団体の相互連携や立ち上げの訓練を行いました。

開催日	場所	参加者数	内容
R7.10.21	釜石市保健福祉センター9 階「研修室」	18 名	令和 7 年度 釜石広域 市町村域ネットワーク会議 【内容】①趣旨説明 ・災害ボラセンの目的と役割について ・三者連携の必要性について ②グループワーク ～課題の共有と解決に向けた意見交換～ ・社協が感じている課題について 【参加団体】 ・岩手県 岩手県社会福祉協議会 いわて連携復興支援センター ・釜石市 釜石市(地域福祉課、防災危機管理課) 釜石市社会福祉協議会、甲子地区民生委員、 小佐野地区民生委員、三陸ひとつなぎ自然学校 ・大槌町 大槌町社会福祉協議会

R7.11.8	小佐野コミュニティ会館 3階	21 名	令和 7 年度釜石広域災害ボランティアセンター設置・運営研修 【内容】 ①会場設営 ②打合せ、ロールプレイ ・災害ボランティアセンターの運営を体験する。 【参加団体】 ・岩手県 岩手県社会福祉協議会 いわて連携復興支援センター ・釜石市 釜石市社会福祉協議会、三陸ひとつなぎ自然学校、釜石高等学校 1 年生、釜石市教育魅力化コーディネーター、小佐野地区民生委員 ・大船渡市 大船渡市社会福祉協議会 ・大槌町 大槌町社会福祉協議会
R8.1.30	大槌町文化交流センターおしゃっち	27 名	令和 7 年度災害ボランティアセンター等機能強化事業、災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練(大槌) 【内容】 ①災害ボランティアセンターの役割と三者連携について ・岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 ・いわて NPO 災害支援ネットワーク INDS ②グループワーク ・運営の流れについて確認する。 ③ロールプレイ ・災害ボランティアセンターの運営を体験する。 【参加団体】 ・岩手県 岩手県社会福祉協議会 いわて連携復興支援センター(INDS) ・釜石市 釜石市社会福祉協議会 ・大槌町 大槌町(健康福祉課、防災対策課) 大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会 大槌町民生委員、NPO 法人吉里吉里国生活支援コーディネーター

■ 福祉サービスの充実と質の向上

① 買物・見守り支援の実施(あんしん助っ人便)

一人暮らし高齢者世帯や身体障がい者世帯等の買い物困難世帯を対象に、買い物代行サービスを実施しました。

登録者	延べ利用者数	延べ注文件数
9 名	21 名	21 件